

今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会 骨子概要【素案】

1. 国立大学附属病院の現状と課題等

(1) 国立大学附属病院に求められる機能と役割

- ①教育、研究、診療、社会・地域貢献、国際化という5つのミッション
- ②高度先進医療を担い手であり、地域の中核的医療機関としての大学附属病院

(2) 国立大学附属病院の現状と課題

- ①附属病院再開発整備におけるハード面の現状と課題
 - ・これまでの再開発整備における目的・成果と課題
 - ・今後の再開発整備に向けた課題
- ②政策的課題や社会的要請などのソフト面における現状と課題

2. 国立大学附属病院施設整備の目指すべき方向性

- ①教育・研修機能充実への対応
- ②研究機能充実への対応
- ③高度先進医療の実践への対応
- ④地域医療連携への対応
- ⑤国際化への対応
- ⑥病院マネジメントへの対応
 - ・安全な病院環境の確保への対応（セキュリティ確保、ライフラインの改善、老朽化対策等）
 - ・災害時の防災機能強化への対応
 - ・地球環境配慮への対応（温室効果ガスの削減、省エネルギーの取り組みなど）
 - ・利用者（患者、医療従事者など）への対応（バリアフリー対策など）
 - ・中長期的にわたる合理的・効率的な計画への対応
 - ・経営改善・効率的病院運営等を踏まえた対応 など

3. 施設整備を行う際の基本的な視点及び留意事項

将来の変化に対応できる病院づくり（3つの視点及びその留意事項）

個々の国立大学附属病院における役割

①検討体制

- ・病院整備を検討するために必要となる検討体制の構築
- ・検討体制による統一的意思決定
- ・過去の病院整備で培ったノウハウの承継

②設計条件

- ・マスタープランを踏まえた、規模設定プロセスによる整備規模の検討、病院設計への反映
- ・規模設定プロセスに必要な多種多様な関連データの整理

③運用面・建築的工夫

- ・既存病院施設の効率的な活用
- ・計画的な維持管理の推進
- ・医療の変化に柔軟に対応でき、かつ効率的な病院整備を計画するための建築的な工夫

(参考)

病院整備計画を策定する際に参考とすべき以下を活用，作成

- ①病院整備計画を策定するための設計条件の提案，②各種データの提供，③チェックシートの作成

4. 国立大学附属病院施設整備の新たな展開に向けて

新たな展開を図る上で必要な取り組みを明記